

夢かなってク 通信

～ かなテク西部に入校し、自分の夢をかなえた方のメッセージです ～

未経験から『精密』を目指して

精密加工エンジニアコース T・Yさん (21歳 男性)

現在、私は非鉄金属メーカーの研磨部門で製品の外観検査を任されています。

かなテクカレッジ西部には、メーカーに勤める親の勧めもあり、何か自分の得意とする技術を見つけて就職したいと思い、精密加工エンジニアコースに入校しました。

技術校では1ミリの千分の一の長さを取り扱う多くの種類の測定器を使うことができ、今の仕事でも、その経験が活かされています。

『やると決めたら後ろを振り返らない、前を向いて進み、何事も最後まで突き詰める』

意識をすれば、日々成長していることが実感できます。

現在、私は非鉄金属メーカーの研磨部門で製品の外観検査を任されています。どこのメーカーでも製品は精度の高い組付けが求められると思いますが、特に我が社の製品はとても丁寧な組付けが必要です。ナノメートルという単位、もっと厳しい寸法で求められる製品を扱っています。

かなテクカレッジ西部に入校したきっかけは、メーカーに勤める親の勧めもあり、何か自分の得意とする技術を見つけて就職したいと思い入校しました。授業では初めの頃は、ヤスリ1本で鉄の材料から材料の幅を一定にしたり、平面・となり合う面の直角などを作ることに苦勞しました。しかし、今、仕事に就いて、製品に求められている面精度を確認する為には、これらの実習は大切だったと毎日感じています。

また、技術校では1ミリの千分の一の長さを取り扱う多くの種類の測定器を使うことができ、今の仕事でも、その経験が活かされています。

製品の形状や目的に応じて、ノギスやマイクロメータ、ダイヤルゲージ、三次元測定器といった測定器を選び、測定物を正確にかつ効率よく測定していくことは、決して簡単ではありませんが、いつかは自分で何でもできるようになりたいと思っています。現在は、職場の上司や先輩の方々と一緒に、仕事をして、判らないところや、難しい作業を手伝ってもらっています。このような状況の中、始業前に測定器の基準を合わせておくことや、そして製品を置く定盤の面を常に清浄な状態にしておくことなど、精度を求められる作業には事前の周到な準備や、経験に裏打ちされた确实性が必要だという意識を培うことができました。

高校時代はスポーツが得意で、体力には自信がありました。それでも、技術校での実習では、立ち作業もあり、実習作業には慣れが必要ですが、将来の自分の姿を想像しながらであれば、ヤル気も違ってきます。そして仕事に就くための準備として、仕事で頑張れるだけの体力づくりも大切です。朝、クラスの皆と一緒に行うラジオ体操を一年間続けたことは、仕事の中で無意識の部分でも役立っていると思います。

技術校では機械装置製作の課題など、クラスメートとグループを組んで、作業を分担しながら完成を目指しました。自分が不得手な作業でもグループみんなで協力しながら解決しました。一人ではうまくできないことでも、グループでアイデアを出し合いながら色々な課題に取り組んだことを思い出します。

グループワークは、実際の仕事でも大切に、現在の職場でも毎日、引き継ぎ作業というものがミーティング後にあります。製品は私一人で完成するのではなく、多くの作業者の連携で完成します。毎日毎日、引継ぎの連続です。次の作業者に、しっかり良い製品を引き継いでいきたい、と考えています。

これから入校を考えている皆様には、私の言葉を伝えたいと思います。

『やると決めたら後ろを振り返らない、前を向いて進み、何事も最後まで突き詰める』

『できないと思ったら、そこで終わり！』

意識をすれば、日々成長していることが実感できます。